

呉の景気観測（D I 方式）

- 令和元年 6 月調査結果 -

呉商工会議所

呉市企業の今期の景況は、製造業の悪化、非製造業の回復で、全体として横ばいの動き
 - 世界経済の不透明さや、増税の価格転嫁に不安があり、今後の動きに注視する必要あり -

- ・調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・調査内容 景況のほか、生産額・売上額など 10 項目について
- ・令和元年 6 月を前年同月と比較
- ・令和元年 7 月～令和元年 9 月の先行き見通しを令和元年 6 月と比較
- ・調査時期 6 月中・下旬
- ・調査対象 呉市内の業種別主力企業 97 社
 (回答 78 社、回収率 80%)

・6月の景況を見ると、下の表の通り、
総合（全業種） D I（良い-悪い）は△14.3→△14.1と、全体では前期に比べ、+0.2と横ばいの推移。
業種別では、**製造業**は、約8.3割の企業が横ばいの回答で、D Iは△9.5→△19.0と悪化した。
非製造業は、約7.7割の企業が横ばいの回答で、D Iは△21.4→△9.7と大きく改善した。

【D I 方式について】
 D I（ディフュージョン・インデックス）は、各調査項目について判断の状況を示す。
 ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわし、マイナスの数値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす。

$$D I = (\text{増加・好転等「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化等「悪い」の回答割合})$$

・7～9月の先行き見通しでは、
総合（全業種） D Iは△11.4→△8.9と、前回予測から2.5と少し上昇で推移する見通し。
業種別では、**製造業**は、D Iは△4.8→△6.5と少し悪化の見通し。
非製造業は、D Iは△21.4→△14.3と回復する見通し。

総合（全業種）では、△14.3→△14.1と、呉市の景況は前期に比べ、+0.2とほぼ横ばいの推移。来期は△11.4→△8.9と、前回予測と比較して少し上昇の見通し。

業種別概況は、製造業は悪化するも、非製造業は回復する動きとなった。6月調査による7～9月先行き DI 数値は、3月調査による4～6月先行き見通しに比べて製造業は下降・非製造業は上昇の見通しで推移する予測。

呉市の景況は、製造業は悪化、非製造業は改善で全体として横ばいの動きとなった。製造業は、「需要が好調」「受注が多かった」と明るい声もあるが、「生産量の減少」「米中貿易摩擦」など、景気悪化の要因となっている。さらに、「物流の人手不足」「ダンボール・包装資材の値上げ等」の影響で、収益を圧迫している模様。非製造業は、「仕入原価の値上がり」「価格の転嫁は難しい」といった声が聞かれた。小売では、一部、広告の強化やイベントの実施などで客数・売上が増加。しかしながら、消費の伸び悩みや価格競争の影響で、厳しい状況が続く。

来期の景況については、世界経済の不透明さや、消費税増税による価格転嫁の対応が厳しい状況が伺え、今後の動きに注視する必要がある。

業種別景況D I

	2019年 3月実績	2019年 6月実績	今 期			3月調 4～6月 見通し	6月調 7～9月 見通し	来 期		
			回答社数構成比 (%)					回答社数構成比 (%)		
			好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合（全業種）	△14.3	△14.1	5.1	75.6	19.2	△11.4	△8.9	5.1	81.0	13.9
製造業	△9.5	△19.0	4.8	83.3	23.8	△4.8	△6.5	6.4	83.0	12.8
非製造業	△21.4	△9.7	6.5	77.4	16.1	△21.4	△14.3	3.6	89.3	17.9
建設業	0.0	16.7	16.7	83.3	0.0	△40.0	0.0	0.0	100.0	0.0
卸売業	△41.7	△23.1	0.0	76.9	23.1	△33.3	△23.1	0.0	76.9	23.1
小売業	0.0	△12.5	0.0	87.5	12.5	0.0	△12.5	0.0	87.5	12.5
サービス業	△20.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0

呉市の業種DI(H30.3～H31.3)

